

環境消防委員会・分科会での主なQ&A

9/10 開催
 付託議案 3件

地方バス路線運行対策事業

Q 予算の計上理由は？

A 本事業は、市民の生活交通手段を確保するため、瀬戸内運輸株式会社とせとうち周桑バス株式会社の2社に対して、路線バスの運行に対する経費を補助するものである。例年は、9月末までの実績に対し、3月補正予算により精算交付という形で補助を行っているが、本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により両バス会社の経営が厳しい状況にあることから、補助金の一部を繰り上げて交付し、経営支援を図ろうとするものである。

前年度の交付実績額を基に、瀬戸内運輸株式会社が約4千400万円、せとうち周桑バス株式会社が約5千100万円、合計9千500万円の2分の1に相当する額を、予算成立後の早い段階で交付する予定である。

個人番号カード等交付事業 (新型コロナウイルス 感染症対策)

Q 導入の効果は？

A マイナンバーカードのオンライン申請ができるタブレット端末を本庁に2台、各総合支所に1台設置する。端末の導入により、これまで1人当たり10分から15分程度かかっていた申請手続きが5分程度で完了するため、新型コロナウイルス感染症対策として窓口の混雑緩和や業務の効率化が期待される。



マイナンバーカード申請受付の様子

産業建設委員会・分科会での主なQ&A

9/10 開催
 付託議案 2件

薬用作物生産流通 体制支援事業

Q 生産者の収益見込みは？

A 収穫までに長期間を要することから、現時点で、収益については未定である。しかし、全量買い取りの契約栽培であることから、一般社団法人日本薬用機能性植物推進機構が、適正価格内の買い取りを行うこととなっている。

スマート農業実証 プロジェクト推進事業

Q 事業の効果は？

A スマート農業を確立することで、農業経験が浅い若者層の参入意欲を喚起し、農業人口の増加につなげるとともに、人工知能を活用した最適な生産調整や出荷システムが構築されることで、効率的な生産による安定収入が得られると期待している。実証実験の成果は公開されるため、JAなどの関係機関と連携を図りながら、地域の農業者も広く利用できるように取り組みたい。



無人走行するロボットトラクター